

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英語WⅡ	
科目基礎情報							
科目番号	2018-238			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子工学科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	Vision Quest English ExpressionⅡ Hope , Evergreen						
担当教員	成田 智子						
到達目標							
高専一年生までに学んだ英文法、語彙、表現を理解できる。 学んだ英文法を用いて英作文ができる。 自分の身の回りのことや意見を英語で表現できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		高専一年生までに学んだ英文法、語彙、表現を適切に運用できる。		高専一年生までに学んだ英文法、語彙、表現を運用できる。		高専一年生までに学んだ英文法、語彙、表現を運用できない。	
評価項目2		学んだ英文法を用いて、英作文がよくできる。		学んだ英文法を用いて、英作文ができる。		学んだ英文法を用いて、英作文ができない。	
評価項目3		自分の身の回りのことや意見を英語でうまく表現できる。		自分の身の回りのことや意見を英語で表現できる。		自分の身の回りのことや意見を英語でうまく表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 4							
教育方法等							
概要		高専一年生までに学んだ英文法、語彙、表現方法を簡潔に復習し、それらを用いた英作文演習・パラグラフライティング演習を行う。身近な話題や自分の考えを英文数行で表現する活動を取り入れる。					
授業の進め方・方法		各Lessonの初めには教科書教材の問題を用いて既習文法の確認を行う。文法事項の確認後は文単位での英作文や、各Lessonなどからテーマを設定して数行の英文を書く演習を行う。グループ活動を取り入れて互いに評価する機会を設定する。					
注意点		試験や課題レポートは、J A B E E、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。使用教材は同じであるが、授業担当者が複数名いるため、状況（クラス毎の習熟度や、学習意欲・態度の差、授業担当者の授業方針等）によって進度やテスト範囲、課題が異なる場合がある。各授業担当者から指示を受けること。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス、Lesson 1			授業の概要を把握できる。主語の決定の仕方が分かる	
		2週	Lesson 1			主語の決定、見えない主語の発見、主語のitの使用が出来る	
		3週	Lesson 1			主語になる名詞句、形式主語、無生物主語を理解して使うことが出来る	
		4週	Lesson 2			自動詞と他動詞を使い分けことが出来る	
		5週	Lesson 2			5文型を復習して英作文に役立てることが出来る	
		6週	Lesson 2			Essay を文法に気を付けながら書くことが出来る	
		7週	Lesson 3			使役動詞と知覚動詞を使うことが出来る	
		8週	Lesson 3			動詞＋O＋to不定詞の型を使うことが出来る	
	2ndQ	9週	Lesson 3			Essay を文法に気を付けながら書くことが出来る	
		10週	Lesson 4			「～する」「～している」は英語でどの時制を使うか判断できる	
		11週	Lesson 4			「～した」「～している」は英語でどの時制を使うか判断できる	
		12週	Lesson 4			Essay を文法に気を付けながら書くことが出来る	
		13週	Lesson 5			助動詞を使うことが出来る	
		14週	Lesson 5			仮定法を使うことが出来る	
		15週	試験範囲の復習			Essay を文法に気を付けながら書くことが出来る	
		16週					
後期	3rdQ	1週	Lesson 6			名詞を後ろから修飾する形容詞を使うことが出来る	
		2週	Lesson 6			関係代名詞と関係副詞を適切に使うことが出来る	
		3週	Lesson 7			副詞・副詞節を適切に使うことが出来る	
		4週	Lesson 7			副詞節を適切に使うことが出来る	
		5週	Lesson 8			原級・比較級を使うことが出来る	
		6週	Lesson 8			最上級を表す表現を適切に用いて英文が書ける	
		7週	Part 2 Lesson 1			列挙の仕方や順序を意識してパラグラフの構成を練ることができる	
		8週	Part 2 Lesson 1			列挙の仕方や順序を意識してパラグラフの構成を練ることができる	
	4thQ	9週	Part 2 Lesson 2			例示や追加の方法を取り入れた英文を書くことができる	
		10週	Part 2 Lesson 2			例示や追加の方法に意識してパラグラフを書くことができる	
		11週	Part 2 Lesson 3			パラグラフに比較や対照を盛り込むことができる	
		12週	Part 2 Lesson 3			パラグラフに比較や対照を盛り込むことができる	

		13週	Part 2 Lesson 4	事象の原因や理由や結果を明確に表す英文が書ける
		14週	Part 2 Lesson 4	事象の原因や理由や結果を明確に表す英文をパラグラフに盛り込むことができる
		15週	まとめと復習	学んだ表現方法を適切に用いてパラグラフライティングができる
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	

評価割合

	試験	課題(作文ほか)	合計
総合評価割合	70	30	100
基礎的能力	70	30	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0